

読売テレビ主催
「子育て応援団すこやかKANSAI」
への体験型ブース出展について

一般社団法人 大阪府医師会



©2025大阪府医師会「らっふい〜」

1/6

「子育て応援団すこやかKANSAI」とは？



◇開催概要

日時：令和8年3月14日(土)・15日(日) 10時～17時

会場：読売テレビ本社

対象：未就学児やそのご家族を中心とした子育て世代

主催：読売テレビ 協賛・協力・後援：計27社(団体)

参加費：無料

- ▶ 読売テレビでは、令和8年3月の1カ月間を持続可能な社会の実現を目指すプロジェクトの強化月間と位置付け、様々なイベントやSDGs活動を行う「ytvサステナBloom」が開催された。
- ▶ 今年度は「つなぐ、いのち。つづく、しあわせ。」をテーマに、多くの企業や団体と連携しながら、子育て・美と健康・地球環境を啓発する取り組みが実施された。
- ▶ 本プロジェクトの一環として、子育て世代を応援するイベントである「子育て応援団すこやかKANSAI」を大阪で初開催。タレントやアナウンサー、読売テレビ系アニメのキャラクターらが登場するステージイベントや協賛ブース、ハイハイレース等の参加型企画など、多彩なプログラムが展開された。



2/6

本イベント参加の経緯とねらい

経緯

令和7年11月下旬：読売テレビより、本イベント協力団体としての参画およびブース出展について依頼

同年12月1日：庶務担当役員による打ち合わせで承認

同年12月17日：府医役員によるワーキンググループを設置。出務する医師や出展内容などを協議

令和8年1月下旬：府医役員・府医広報委員会委員・市内病院の小児科専攻医にイベントへの出務を依頼

ねらい

医師会の認知度の向上

- ・子育て世代の方々をターゲットに、医師会の存在や活動内容を広く発信する。
- ・本イベントには多数の来場者が想定されており、多くの地域住民と直接触れ合える貴重な機会である。
- ・開かれたイベント空間のため、医師に対する心理的ハードルが下がる。

医師会のイメージアップ

- ・親子で楽しめる様々なコンテンツを用意して、「親しみやすさ」をアピールする。
- ・直接触れ合うことで、ニーズや好まれるコンテンツを把握し、今後の啓発活動に活かす。
- ・府医公式キャラクター「らっふい〜」や公式Xの普及・啓発を行い、若い世代に興味・関心を持ってもらう。

ヘルスリテラシーの向上

- ・医療に関する正しい情報を啓発し、参加者本人や家族の健康について見つめ直す機会にしよう。
- ・医師と直接触れ合う中で、子ども達が医療分野で働きたいという夢につながり、将来の医療界を支える人材が一人でも増えてほしい。



3/6

体験型ブースの出展内容

- ▶ ブース名：大阪府医師会「健康何でも相談」
- ▶ ブースの広さ：縦180cm×横360cm
- ▶ 「親子で楽しめる」をコンセプトに出展内容を考案
→ 保護者は相談、子どもは体験という流れを想定

白衣を着た医師が各コーナーを担当。和やかな雰囲気では来場者と交流した



医師による健康相談

- ・小児科をはじめ7診療科の医師が対応

白衣試着体験

- ・医師と触れ合いながら試着体験！
- ・「らっふい〜」のパネルの前で記念撮影

公式キャラクターの普及啓発

- ・オリジナルトートバッグや風船を配布！
- ・スタンブラリーも実施

健康啓発資料の提供

- ・子どもに役立つ動画の上映やチラシ配布



4/6

体験型ブースの実績（総来場者数 400人超）

予想を大きく
上回った

医師による健康相談

- ・相談件数：計47件（1日目：19件、2日目：28件）
- ・府医役員および広報委員・市内病院の小児科専攻医、計18人が出務。
- ・小児科をはじめ内科・産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・精神科など、お子さんや親御さんの健康上の相談に応じた。特に、子どもの発育に関する相談が多く、身長や発語、生活習慣などに関する質問に答えた。

白衣試着体験

- ・参加人数：計300人以上
- ・100～170cmまでの白衣や聴診器を配置。医師がお子さんと触れ合いながら、白衣試着の補助や聴診器の使い方を説明した。
- ・府医公式キャラクター「らっふい〜」のパネルとともに記念撮影を行った。両日とも大変好評で、白衣の試着を待つ人が後を絶たなかった。

公式キャラクターの普及啓発

- ・本イベントのために作成したオリジナルトートバッグを健康相談および白衣試着体験に来られた方に配布。終了時刻までに予定していた300個はすべて無くなった。
- ・らっふい〜のスタンプを押した風船は子ども達に大人気であった。スタンプラリーも実施し、キャラクターを広く啓発した。

健康啓発資料の提供

- ・日本医師会や日本小児科医会などが作成した動画や、府医を紹介する動画を終日モニターで上映した。
- ・小さなお子さんに役立つチラシなどをらっふい〜のクリアファイルに入れて配布した（配布数：約100部）。



5/6

まとめ

医師への信頼感・安心感を
強める機会になった

イベントの工夫と効果

1. 医師会の認知度向上

- ・体験型コンテンツを通して、来場者と直接お話しすることができ、**認知度向上**や**親しみやすさのアピール**になった。
- ・**メディアと連携**することで、普段医師会が主催するイベントに来られないような層にも訴える機会になった。

2. 医師会のイメージアップ

- ・白衣での対応ながら、診療室とは違う親しみやすさを感じられ、**医師の新たな一面**を知ってもらう機会となった。
- ・「らっふい〜」のパネルやカラフルな風船を用意することで、お子さんにも興味を持ってもらうことができた。
- ・ノベルティとして、普段から使いやすいトートバッグを配布することで、**公式キャラクターの啓発**にもつながった。

3. ヘルスリテラシーの向上

- ・本イベントが、子ども達が医療への関心を深め、**将来医療を志すきっかけ**になれば嬉しい。

4. 関連団体との連携

- ・医会などから資料映像・チラシ・ポスターを提供いただき、広報活動を通じた**横の連携**ができた。

今後の広報活動について

- ・今後もリアルイベントに加え、公式 x での健康情報の発信、公式キャラクターの普及啓発など地道な広報活動を継続することで、認知度向上やイメージアップを図っていきたい。
- ・メディアと連携した取り組みにも力を入れていきたい。



6/6